

[REAL TIMES は外国人地震情報センターが発信する、外国人支援者向け情報誌です。]
外国人地震情報センター：文責 田村 TEL: 06-941-4793 FAX: 06-941-5875

■おもな出来事 (95.8.8.～8.17.)

1. 第21回地元NGO/外国人救援ネット

8.11.

(全1ページ)

第21回地元NGO/外国人救援ネット

8月11日、中山手カトリック教会にて外国人救援ネットの第21回会議が行われた。

★外国人救援ネットの今後

電話相談窓口を常設していく件について、9月から週2回実施する方向で話が進められてきたが、震災でできたネットワークが恒常的な活動を持つにあたっては、大枠の議論、組織や予算、人員などについての議論と確認をしておく必要がある、との意見が出た。そこで、以下の点に留意し次回の救援ネットで方向性の確認をする。

- 1) '96年3月までは地元NGO連絡会議の1分科会として、これまで通り活動する。
- 2) 常設のホットラインは予定通り実施する。
- 3) '96年4月以降は恒常的な組織をつくる。
- 4) 問題解決のためのチャンネルの整備。

★医療費・弔慰金問題

県が復興基金からの未収金補填をほぼ確実なものにした状況をうけ、帰国者を中心に医療費肩代わり基金からの支援を検討してきたケースについて支給を急ぐ。次回の救援ネットでケースの確認をしたい。また、弔慰金についても、在留資格が問題になっている3ケースに全額は無理にしても一部を基金から支給する方向。

肩代わり基金の募金総額は、約838万円(8月11日現在)。

★弔慰金問題の今後

肩代わり基金からの一部支給は、あくまで遺族にとって「実効的な救済」を行うものであり、内外人平等の観点からすべての被災者への等しい救済措置を求めることは変わらない。

方法として、1) 神戸市民生局への再申請 2) 弁護士会の人権擁護委員会への提訴などが考えられる。

次回、肩代わり基金からの支給と共に具体的な行動計画をたてる。

- ・次回の議題：1) 肩代わり基金からの支給ケースの確認
- 2) 相談窓口開設へ向けた人員配置、問題解決チャンネルの確認
- 3) 組織的な取り組みについて
- 4) '95～'96の事業計画

次回外国人救援ネットは、8月21日(月)午前10時から、
中山手カトリック教会にて。